

購買業務のプラットフォーム

食料品調達先の評価基準

評価項目	評価基準	評価方法
設備環境	設備環境の整備状況	視察・写真撮影
品質管理	品質管理の体制	書類審査・インタビュー
社会貢献	社会貢献の取り組み	書類審査・インタビュー



一般社団法人 日本資材管理協会

URL : <http://www.jmma.gr.jp>

E-MAIL : info_jmma@jmma.gr.jp



食料品調達先の 評価軸

evaluation concept

安いからだけでは・・・
安心・安全を担保できるか・・・
品質確保は 間違いないか・・・

何を評価するのか？

評価軸
項目は

M: 経営

Q: 品質

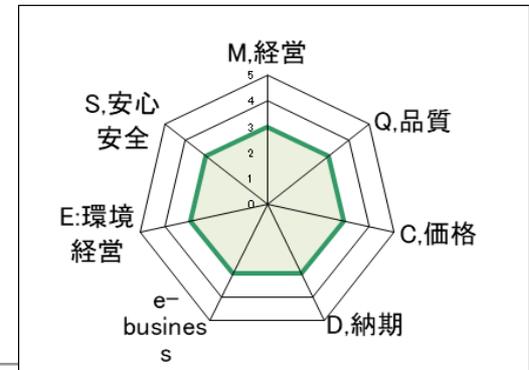
C: 価格

D: 納期

e: 電子取引

E: 環境

S: 安心安全





食料品調達先の 評価シート構成

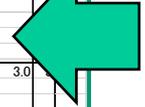
Excel architecture

会社名・ID

見える化
(強み弱み)

会社の特徴		5段階評価の判断基準					項目	合計	特徴
no.	評価項目	5	4	3	2	1	評価	点数	配点
M	Management (経営将来性)	GAPやMSC 徹底して	policyを明示、実行	policyを提示	policyはあるが...	policy不明確	3	9.0	3
*1	1 Management policyが明確か? 2 経営者、事業責任者は意欲的か? 3 財務内容は健全か? (金融債務・自己資本) 4 当社へのビジネス姿勢 5 後継者人材育成がされているか?	かなり意欲的 良い状態にある 非常に積極的	意欲的 健全である 非常に積極的	積極的 利益は出ている 協力的である 普通	行動的ではあるが... 欠損 やや協力的 やや劣る	消極的 累積あり 問題もある 非常に劣る	3 3 3 3		
Q	Quality assurance (品質) (Q1項は下記の3つの中から1項目のみ選択評価)	SQF2000 認証済 又は「工場品質審査」に合格しているか? 又は「食品安全管理と実施レベル」 2 製品の品質実績は良いか? 3 原料の品質管理は良いか?	「優良」で合格 適切、周知徹底 不良率 0.001%未満 優れている	approach中 「良」で合格 適切、おおむね良好 不良率 0.002%未満 良い	1年以内に計画あり 「要改善」で合格 一部不備、必要最小限 不良率 0.005%未満 普通	認証の計画あり 「不合格」 一部不備、不足 不良率 0.01%未満 やや劣る	3 3 3 3	3.0	1.00
C	Cost reduction ability (価格)	5%以上 2 Cost競争力が優位か? 3 生産効率、品質向上への投資しているか? 4 特徴ある技術を有しているか?	5%以上 Cost競争力優位 業界先端の投資 開発時点から協調	3~4. 99% Cost競争力あり 改良出来ている VE提案できる	2~2. 99% CD改善取組可 投資はしている 自主改善能力ある	1~1. 99% CD取組消極的 再投資困難 改善打合せ可能	3 3 3 3	18.0	30
D	Delivery service (Logistics) (納期)	1 即納体制は? 2 契約納期は守られているか? 3 生産管理のレベルが適切か? 4 生産計画変動への対応、協力	JIT納入対応 納期達成率99%以上 非常に良く管理している 優れている	一部 JIT可能 納期達成率98%以上 管理の仕組みがある 良い	JIT納入計画 納期達成率96%以上 管理されているが... 普通	JIT対応困難 納期達成率90%以上 キーマンの管理 やや劣る	3 3 3 3	12.0	20
e	e-business activity (電子商取引)	1 e-business 積極的に取り組んでいる 2 生産現場との交信が可能か?	積極的に取組展開 EDI 各社と取組中	EDI 一部対応可能	EDI 計画あり	EDI 計画なし	3 3	3.0	5
E	Environment (環境経営)	*3 1 グリーン調達ガイドラインに準拠しているか? 2 有害物質管理しているか? 3 商品の環境負荷の低減	認証済積極的に取組 正確に管理徹底して ゼロ・エミッション対応も	ISO14000認証済 積極的に取組中	計画はあるが... 部分的に対応 部分的に対応している	計画なし 殆ど管理していない 殆ど管理していない	3 3 3	3.0	5
S	Food Safty (食品の安心安全)	1 原料の減農薬・無農薬の管理 2 原料・生産者の特定管理 3 原料の遺伝子組み換え 4 流通の安全管理、運行Web管理 5 その他のサービスなどの評価	3 3 3 3	3 3 3	3 3 3	3 3 3	6.0	3	10
<p>*1 危機管理への対応、奇聞デマゴギーにより評価、*2 別規定の品 SQF: Safe Quality Food 2000</p>							<p>配点により 100点満点に補正→ 合計 54.0 3 100 ...字を入れると合計され、radar chart graphが生成されます。</p>		

評価軸
評価項目



評価点



配点
(項目の重み)



判定基準(1~5)



合計点



食料品調達先 評価の進め方

事前説明

評価の準備・日程調整 (視たり聴いたり)

事前評価依頼、自己申告 ……E-mail

現場でわかること ……現地

インタビューでわかること ……会社訪問

信用調査会社でわかること ……ネット

決算書などでわかること ……資料

取引実績でわかること ……実績データ

評価の測定・判断の基準 (点数をつける)

評価基準 点数(5段階) 配点(重み)

判定基準 項目ごとに 何がどのようななら何点か?

取り組み 実績や現場の実態・組織体制



評価軸と項目 M:経営 Q:品質

評価軸ごとに項目を選ぶ、
網羅すれば良いとは限らない

M: 経営力

安全性・・・自己資本比率、有利子負債、キャッシュフロー
収益力・・・売上高利益率、1人当り生産高、資産回転率
社会性・・・法令遵守CSR、企業統治、社会貢献
その他・・・経営者資質・後継者、グローバル化、脱下請け

Q: 品質力

品質マネジメントシステム・・・ISO GAP認証など
品質実績・・・受け入れ検査合格率、クレーム
取り組み・・・品質方針、品質目標、人的資源・教育
その他・・・顧客重視、内部監査、



評価軸と項目 C:価格 D:納期

評価軸ごとに項目を選ぶ、
網羅すれば良いとは限らない

C: 価格競争力

VE実施力・・・VE提案、ノウハウの蓄積共有
コストダウン・・・協力実績、見積コストレベル
その他・・・規格・仕様の見直し、委託生産

D: 納期管理力

効率的生産力・・・生産管理システム、再委託・協調生産
量的対応力・・・計画対応、需給変動対応
納入実績・・・納期達成率、緊急品対応
その他・・・多能工、契約納期遵守



評価軸と項目 E:環境 e:DX S:サービス

評価軸ごとに項目を選ぶ、
網羅すれば良いとは限らない

E: 環境経営力

ISO14000認証、グリーン調達対応

有害物質不使用の管理

生産出荷の環境負荷低減、産業廃棄物・ゼロエミッション

e: 電子対応力

DX・・・生産管理データリンク、電子見積・出荷回答、
生産現場との交信 生産ロットのトレーサ

S: サービス力

原料・生産の減農薬・無農薬の管理

流通の安全管理、運行Web.管理

遺伝子組み換え、MSC認証、ASC認証 協調研究



食料品調達先の評価 配点の確認(年度方針で)

会社の特徴		食料品 調達先評価 基準 試案				2022/8/22	V1.0	20721	A
M.経営		会社名		会社概要		承認		作成	
S.安心安全		統一企業コード							
E.環境経営		54	評価合計点数	ISO9000 認証					
business		ISO14000 認証		5 段階					
no.	評価項目	5	4	3	2	1	項目	合計	特
M	Management (経営将来性)							3.00	3.15
1	1 Management policyが 明確か?	GAPやMSC 徹底して	policyを明示、実行	policyを提示	不明確		3		
2	2 経営者、専業責任者は 意欲的か?	かなり意欲的	意欲的	積極的	消極的		3		
3	3 経営者等は健全か? (会社業績、自己資本)	自己資本比率	健全である	利益は出ている	累積赤字		3		0.80
4	4			協力的である	問題もある		3		
5	5			普通	非常に劣る		3		
Q	Quality (品質)						3.00	3.15	
1	1 年以内に計画あり	要改善で合格	“不合格”	“不可”			3		
2	2 一部不備必要最小限	一部不備不足	不備多い無管理状態				3		1.00
3	3 不良率 0.005%未満	不良率 0.01%未満	不良率 0.01%以上				3		
4	4 普通	やや劣る	非常に劣る				3		
C	Cost (コスト)						18.00	3.30	
1	1 ~2.99%	1~1.99%	0.99%以下				3		
2	2 Cost改善取組可	CD取組消極的	Cost高く改善困難				3		
3	3 投資はしている	再投資困難	設備老朽化				3		1.50
4	4 自主改善能力ある	改善打合わせ可能	図面指示で製作				3		
D	Delivery (納期)						12.00	3.20	
1	1 JIT納入計画中	JIT対応困難	出荷system無し				3		
2	2 納期達成率96%以上	納期達成率90%以上	納期達成率90%未満				3		
3	3 管理されているが	キーマン頼りの管理	現場を探すレベル				3		1.00
4	4 普通	やや劣る	非常に劣る				3		
E	EDI (電子データ交換)						3.00	3.5	
1	1 EDI一部対応可能	EDI計画あり	EDI計画なし				3		
2	2						3		0.5
E	Environment (環境)						3.00	3.5	
1	1 認証に準						3		
2	2 管理して						3		
3	3 取組ん						3		0.30
S	Service (サービス)						6.00	3.10	
1	1						3		
2	2						3		
3	3						3		0.40
4	4						3		
5	5 その他のサービスなどの評価						3		
								54.00	3.100

評価軸ごとの配点設定

配点 重み付けの例

	例 1	例 2	初期値
M	15	10	15
Q	15	30	15
C	30	20	30
D	20	20	20
E	5	10	5
e	5	5	5
S	10	5	10

配点合計 100 確認



食料品調達先の評価 評価シート 記入手順 ①②

		5	4	3	2	1	項目評価	合計点数	特徴	
M Management (経営・将来性)								9.0	3 15	
1	Management policyが明確か?	GAPやMSC 徹底して	policyを明示、実行	policyを提示	policyはあるが...	policy不明確	3			
2	経営者・事業責任者は意欲的か?	かなり意欲的	意欲的	積極的	行動的ではあるが...	消極的	3			
*1	3 財務内容は健全か(金融債務・自己資本)	良い状態にある	健全である	利益は出ている	欠損	累積あり	3		0.80	
4	4 当社へのビジネス姿勢	非常に積極的	積極的である	協力的である	やや協力的	問題もある	3			
5	5 後継者・人材育成がされているか?	優れている	良い	普通	やや劣る	非常に劣る	3			
Q Quality assurance (品質) (Q1項は、下記の3つの中から1項目のみ選択評価)								3.0	3 15	
1	1 SQF2000又はGAP 認証されているか?	SQF2000 認証済	approach中	1年以内に計	「要改善」	「要改善」	3			
*2	又は「工場品質審査」に合格しているか?	「優良」で合格	「良」で合格	一部不	一部不	一部不	3		1.00	
2	2 製品の品質実績は良いか?	適切周知徹底	適切おおむね良好	不良率 0.001%未満	不良率 0.002%未満	普通	3			
3	3 原料の品質管理は良いか?	優れている	良い	普通	やや劣る	非常に劣る	3			
C Cost reduction ability (価格)								18.0	3 30	
1	1 コストダウン協力実績	5%以上	99%	2~2.99%	1~1.99%	0%	3			
2	2 Cost競争力が優位か?	優位	普通	劣位	劣位	劣位	3			
3	3 生産効率・品質向上の取り組み	積極的	普通	普通	普通	普通	3		1.50	
4	4 特徴ある技術・ノウハウの活用	活用	活用	活用	活用	活用	3			
D Delivery service								12.0	3 20	
1	1 即納体制は	即納	即納	即納	即納	即納	3			
2	2 契約納期は	90%以上	90%以上	JIT対応困難	JIT対応困難	JIT対応困難	3			
3	3 生産管理のレベル	高レベル	高レベル	高レベル	高レベル	高レベル	3		1.00	
4	4 生産計画変動への対応	柔軟	柔軟	柔軟	柔軟	柔軟	3			
e e-business activity (電子商取引)								3.0	3 5	
1	1 e-business 積極的に取り組んでいる	積極的に取組展開	ED1各社と取組中	ED1一部対応可能	ED1計画なし	ED1計画なし	3			
2	2 生産現場との連携が可能か?	可能	可能	可能	可能	可能	3			
E Environment (環境経営)								3.0	3 5	
*3	1 グリーン調達ガイドラインに準拠しているか?	認証済 積極的に取組	ISO14000 認証済	ISO14000 認証済	ISO14000 認証済	ISO14000 認証済	3			
2	2 有害物質管理しているか?	正確に管理徹底して	よく管理している	よく管理している	よく管理している	よく管理している	3			
3	3 商品の環境負荷の低減	ゼロ・エミッション対応も	よく管理している	よく管理している	よく管理している	よく管理している	3		0.33	
S Food Safty (食品の安心安全)								6.0	3 10	
1	1 原料の減農薬・無農薬の管理	徹底	徹底	徹底	徹底	徹底	3			
2	2 原料・生産者の特定管理	徹底	徹底	徹底	徹底	徹底	3			
3	3 原料の運搬子組み換え	徹底	徹底	徹底	徹底	徹底	3		0.40	
4	4 流通の安全管理、運行Web管理	徹底	徹底	徹底	徹底	徹底	3			
5	5 その他のサービスなどの評価	あり	あり	あり	あり	あり	3			
*1 危機管理は「JAL 帝国データバンク」により評価、*2 別規定の品質審査基準により評価、*3 別規定、グリーン調達ガイドラインにより評価 SQF: Safe Quality Food 2000 Copyright Kimitoshi Yagi Procurement Innovation Research 項目評価の黄色印刷に数字を入れると集計され、radar chart graphが生成されます。								合計	54.0	3 100

① 会社名 ID

② 評価点数記入

② 評価判定基準 参照して判断

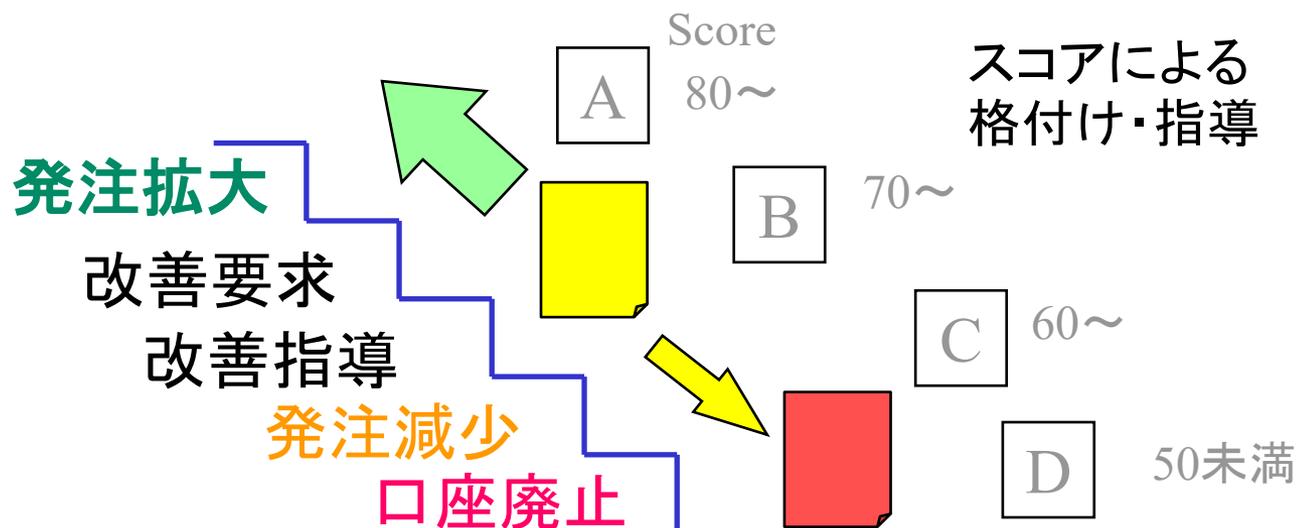
② 点数記入 全項目



評価結果の説明・討議・対策

結果説明

調達先トップへの説明
問題・課題の明確化・共有化
評価結果による 今後の戦略対応・対話
改善点の認識と改善の継続性





食料品調達先の評価シート まとめ



サプライヤとの“共益協創”のために！

1. 購買部門のミッションを実現するために
評価は手段、連携でお互いの利益協創が目的
2. 評価システムとして活用・継続が大切
購買戦略やサプライヤ再編成、サプライヤ別方針への運用
3. サプライヤ自身で定期的に評価をやっていただく、
セルフ・マネジメント(自律成長)に期待